

岩手のシカはどこにいる？

岩手のシカは広がっている

岩手県にはシカ（ニホンジカ）がいます。ある生物がどこに生息しているのかをその生物の分布といいますが、岩手のシカの分布はどうなっているのでしょうか。図1は環境庁（現在の環境省）が昭和53年にそれを調べた結果です。当時は五葉山を中心とした地域にいて、それ以外はほとんどいませんでした。図2は25年後の平成15年に再び調べた結果です。図1と比べると分布がかなり広がってきたことがわかります。このままいけばシカは今後さらに分布を広げていくおそれがあります。

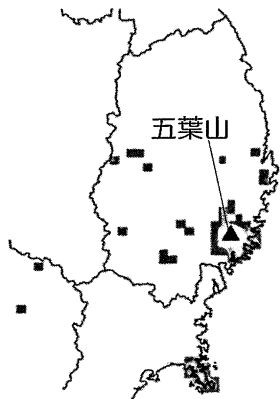


図1. 昭和53年のシカ分布

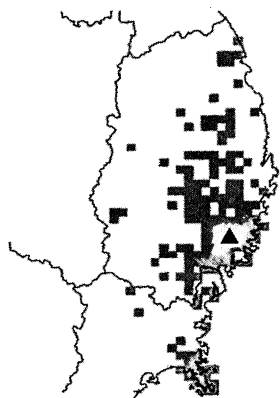


図2. 平成15年のシカ分布

シカが広がると何が起きる？

シカが多いと農林業被害が出ますが、いろいろな技術を正しく使えば完全には無理でもかなり防ぐことができます。ところが、今までシカがあまりいなかったところではシカに対して無防備な状態で農林業を営んでいます。そこへシカが広がっていきくと大きな被害が出るので、シカが増える前に対策しなければなりません。かといって、当分シカが来る見込みのない場所で先走って対策をしていても役に立たないばかりか労力と費用が無駄になります。



写真. 五葉山のシカ

シカは自然の植物にも大きな影響を与えます。とくに山の森林や高山植物に影響が出ると回復できなくなるおそれがあります。そういう場所へシカが入り込むのを監視して、手遅れにならないよう対策しなければなりません。

ですから、シカの分布を調べ、今後どのように広がるのかを予想することが必要なのです。

シカの分布を調べるには？

シカが多い場所なら足跡、糞、食痕などであることがすぐわかりま

す。シカ自体を見ることもできません（写真）。いるのかどうかだけでなく、どれくらいいるのかを調べる方法もあります。しかし、まだ少ない場所ではいるのかいないのかさえ簡単にはわかりません。

そこで、岩手県は平成21年3月に岩手県ニホンジカ目撃情報収集ネットワークというものを作りました。これは、県内の市町村や林業関係者、猟友会などの方々からシカを見た情報を報告してもらう仕組みです。つまり、仕事や趣味で山へ入る人たちの人海戦術で県内のシカ分布を調べよう、というのです。同時に、シカが分布拡大しているから注意が必要ですよ、という県民への呼びかけにもなっています。

このネットワークは皆さんの協力が頼りです。シカを見たら岩手県自然保護課に報告してください。その方法などは自然保護課のホームページに載っています。

森林総合研究所東北支所 堀野眞一